

変な名前、不思議な名前

植物名の由来 秋編

秋も深まってくると花は少なくなり、実が多くなってきます。また、木の葉も少しずつ色づき、落ち葉が増えてきます。そんな秋真っ盛りの谷戸山公園に、変わった名前の植物があるのに気付きました。「ヌスビトハギ」や「ゴンズイ」などなど。そこで名まえの出所を探してみました。

◎ムラサキシキブ 【紫式部】

(クマツヅラ科、落葉低木)

その実が秋になると美しい紫色に熟すことから、「源氏物語」の作者であり平安時代の才女「紫式部」から名付けられたというのが通説です。それとは別に本来は「ムラサキシキミ」という名が江戸時代に「ムラサキシキブ」になったという説もあります。

谷戸山公園には小ぶりの「コムラサキ」が植えられています。



【問い合わせ先】 県立座間谷戸山公園管理事務所
〒228-0024座間市入谷3-3904
TEL: 046-257-8388 FAX: 046-257-8533

◎ニシキギ 【錦木】

(ニシキギ科、落葉低木)

名前を漢字で書くと意味がすぐに判りますね。秋の紅葉が「錦」のように見事なことから、その名の由来があります。枝にコルク質のヒレがあるのが特徴的で、庭木にも使われる木です。



◎ヌスビトハギ 【盗人萩】

(マメ科)

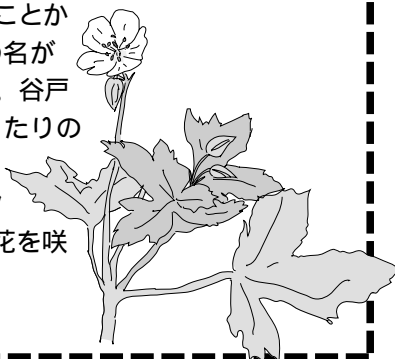
実の形が「盗人の足」に似ていることと、知らぬ間に実が人の服に付いたりすることからその名が付けられたようです。谷戸山公園では、林の園路沿いに普通に見られます。



◎ゲンノショウコ 【現証拠】

(フウロソウ科)

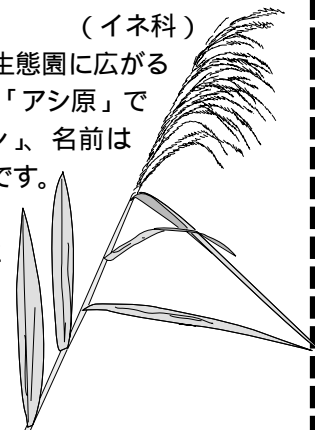
昔から下痢止めの民間薬として知られています。全草を乾燥させて煎じて飲むと、直ぐに効果が現れることから「現証拠」の名が付けられました。谷戸山公園内の日当たりのよい園路沿いに、白やピンクの5弁の小さな花を咲かせています。



◎アシ 【葦】

(イネ科)

谷戸山公園の湿生生態園に広がる「ヨシ原」は正確には「アシ原」です。「ヨシ」と「アシ」、名前は違いますが同じ植物です。これは正式和名の「アシ」は「悪し」に通じるので、転じて「善し」としてしまっただけです。人って勝手ですね。



◎ガングビソウ 【雁首草】

(キク科)

花の付き方がキセルの「雁首」に似ていることから名付けられました。

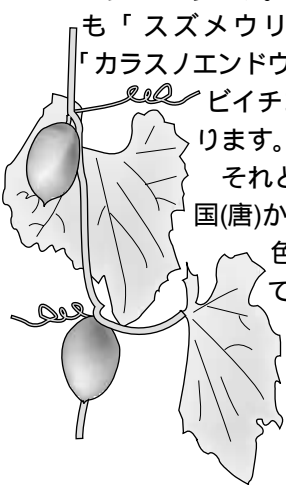
最近キセル(ただで電車に乗ることはありませんよ)を見かけることはありませんが、キセルはその昔、おじいちゃんたちが使っていた日本古来のタバコを吸う道具です。谷戸山公園では園路沿いに、黄色いネバネバの実をつけて、人や動物にくっついて運ばれるのを待っています。



◎カラスウリ 【烏瓜】

(ウリ科)

秋になると朱色の実が遠くから目立ちます。カラスが好んで食べるウリの意味で名付けられたという説もありますが、人があまり食べない植物に動物の名前を付けることが多いようです。他にも「スズメウリ」や「カラスノエンドウ」、「イヌビワ」、「ヘビイチゴ」などいろいろあります。



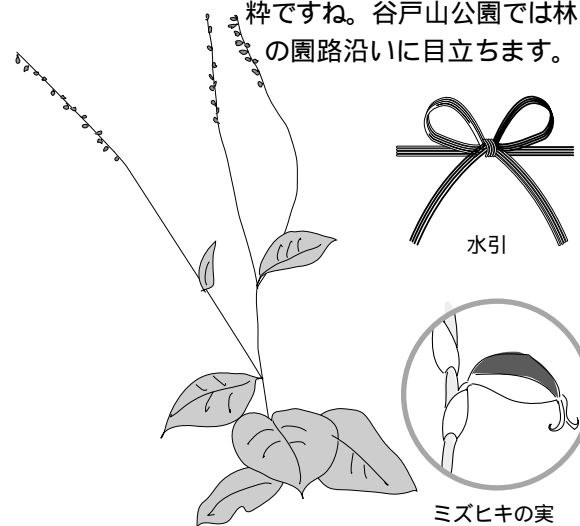
それとは別に、その昔中国(唐)から輸入していた朱赤色で卵形の墨に、似ていることから「唐朱瓜」が語源という説もあります。



◎ミズヒキ 【水引】

(タデ科)

これもその漢字名から判るように、おめでたい進物に使用する「水引」(紅白の紐)に由来しています。細い穂に米状の実がまばらにつき、実の上側が赤く、下側が白いことから紅白の縁起ものに掛けたようです。なんとも粋ですね。谷戸山公園では林の園路沿いに目立ちます。



参考資料: 「植物名の由来」 中村浩 東京書籍

11月の案内板

今年もやるよ！ 「米作り収穫際」

- ・日時：11月26日（日）10：00～14：00
雨天一部中止
- ・場所：県立座間谷戸山公園 里山体験館周辺
- ・主催：「米作り収穫際」実行委員会
- ・内容：もちの無料配布・バウムクーヘン作り・ピッツア作り・焼きイモ作り・お囃子・野点・自然観察クイズラリー・ネイチャーゲーム・お菓子釣り・作品展・間伐材工作（鍋敷き、コースター）
- ・参加費：すべて無料
- ・問い合わせ：公園管理事務所 TEL046-257-8388

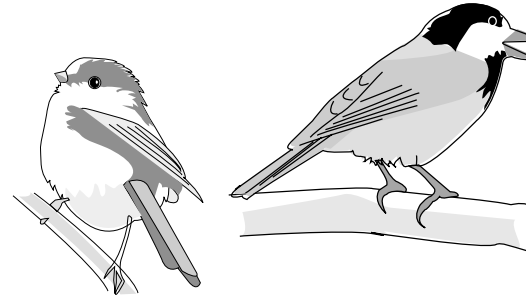
次回のグリーンタフ 定例自然観察会

- ・日時：11月19日（日）
13：00～15：00 小雨決行、荒天中止
- ・集合：「里山体験館」前
- ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
- ・問い合わせ：「グリーンタフ」（神奈川県自然観察指導員連絡会）
代表 一杉敏登 TEL.046-238-4355

里山体験館では双眼鏡と野鳥の図鑑を貸し出しています。ぜひご利用ください。

自然観察会「冬のバードウォッチング」

- ・日時：11月11日（土）10：00～12：00 雨天中止
- ・集合：県立座間谷戸山公園 里山体験館前
- ・内容：来始めた冬の渡り鳥を中心に観察します。
- ・持ち物：あれば双眼鏡。無い方は管理事務所で貸し出します。
- ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
- ・指導協力：「谷戸山野鳥と自然の観察会」
- ・問い合わせ：公園管理事務所 TEL046-257-8388



県立座間谷戸山公園自然情報 (2000年10月15日現在)

今度の日曜日は「掻い掘り」です。

9月17日に実施予定だった「水鳥の池」の「掻い掘り」（かいぼり）が、22日（日）に実施されます。前回は大雨で池の水が排水できず泣きをみましたが、今回はリベンジです。掻い掘りでどんな生き物が出てくるか楽しみですが、当日は水の無くなった池底の汚泥も取り除く予定です。捕まえた生き物は仮設池（プール）に入れ、ミニ水族館のようにして、皆さんに観てもらいます。掻い掘り後は池本来の生態系になります。水がきれいになった池に、水生植物や水生昆虫が戻って来てくれることを期待しています。

こんな花が咲いています

- ・コムラサキ・ススキ・オギ・コスモス・タイアザミ・イラクサ
- ・ガンクビソウ・ヘクソカズラ・ヤマホトトギス・キツネノマゴ
- ・ガマズミ・ヤブマメ・カゼクサ・アキノタムラソウ・ヤブマオ
- ・アキノキリンソウ・ゲンノショウコ・サクラタデ・カナムグラ

- ・ブタクサ・アシ・ヨモギ・セイタカアワダチソウ・イヌタデ
- ・ハナタデ・イヌビユ・キンモクセイ

こんな実がなっています

- ・イノコズチ・ヌスビトハギ・チヂミザサ・ミズヒキ・タケニグサ
- ・キンミズヒキ・クサギ・ヤブミョウガ・ヨウシュヤマゴボウ
- ・オナモミ・アメリカセンダングサ・コセンダングサ

こんな鳥が見られます

- ・シジュウカラ・エナガ・ヤマガラ・スズメ・メジロ・ウグイス
- ・ホオジロ・ハクセキレイ・キセキレイ・コジュケイ・キジバト
- ・イカル・ハシブトガラス・ハシボソガラス・ヒヨドリ・ムクドリ
- ・オナガ・カケス・カワラヒワ・アオゲラ・コゲラ・ツバメ・モズ
- ・アオサギ・カワセミ・ゴイサギ・カルガモ

お願い

無断転載、コピー大歓迎です。
どんどんお使いください。
みなさんが座間谷戸山公園でとった観察メモやイラスト、大発見したこと、気付いたこと、なんでもOK。管理事務所へ持ってきてください。谷戸山だよりで紹介させていただきます。

